

令和3年度 岡山県立勝間田高等学校 学校経営計画書

I 校訓

| | |
|-------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 質実剛健 | 安達清風先生の「有効学舎」建学の精神を継承 |
| <input type="checkbox"/> 種徳共生 | 創立100周年記念に21世紀を切り拓く後輩へ、先輩から送られたメッセージ |
| <input type="checkbox"/> 至誠実行 | 平成17年4月引き継いだ、日本原高校の校訓 |

II 学校教育目標（学校のミッション、使命・存在意義）

| | |
|---|--|
| 1 | 誠実・明朗で勤労精神にあふれ、真摯に努力する心身共に健全な人材を育成する。 |
| 2 | 自律と責任のもと創意工夫により社会の変化に積極的に対応し、 地域社会や農業関連産業に貢献する 人材を育成する。 |
| 3 | 郷土の文化や自然を愛し、心豊かで生涯にわたり学び続ける姿勢をもった人材を育成する。 |

III 学校内外の環境分析 ※「強み」・「弱み」を明確にし、「強み」を生かす

| | 内部環境 | 外部環境 | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|---|---|--------|-------|----|----|-----|--------|-------|-------|-------|-------|-------|----|----|----|----|
| 強み | <ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員に協働体制がある ○ 多様な専門性を持つ教職員集団の存在 ○ 教育施設・設備の充実 ○ 専門コース(20名程)の充実 【森林・園芸・食品・自動車・ビジネス】 ○ 地元を支える人材を育成している 【卒業生:就職70%の内、地元就職85%】 ○ 専門機関(SSW・SC・警察等)との強い連携 ○ 生徒指導数の減少 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域との連携が強い 【交流活動・小中学校連携・ボランティア活動が充実】 ○ 勝央町からの支援あり(町内唯一の高校) ○ 勝央町に中核工業団地がある ○ 勝央町の人口(1万人)は維持状態 ○ 学校のイメージが徐々に上昇 ○ 進路実現に対して「面倒見が良い」イメージあり | | | | | | | | | | | | | | | |
| 弱み | <ul style="list-style-type: none"> □ 教職員間の情報共有や連携の不足 □ H23から11年連続定員割れ □ 生徒数減少(教員数減少) □ 教員の多忙感・疲弊感 □ 要支援生徒対応の増加(通級導入) □ 学習・生活習慣に課題ある生徒の増加 □ 原級留置者が多い(R2末:8人) □ 自己肯定感が低い生徒が多い | <ul style="list-style-type: none"> □ 『問題行動多い』『学力低い』のイメージあり □ 公共交通機関の利便性が悪い □ 美作学区の中学校卒業生数の減少実態 <p style="text-align: center;">※H30～R10(10年間)約330人</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>高校入学年度</th> <th>H30</th> <th>R3</th> <th>R6</th> <th>R10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>卒業見込者数</td> <td>2,084</td> <td>1,963</td> <td>1,868</td> <td>1,756</td> </tr> <tr> <td>募集学級数</td> <td>39</td> <td>37</td> <td>34</td> <td>32</td> </tr> </tbody> </table> | 高校入学年度 | H30 | R3 | R6 | R10 | 卒業見込者数 | 2,084 | 1,963 | 1,868 | 1,756 | 募集学級数 | 39 | 37 | 34 | 32 |
| 高校入学年度 | H30 | R3 | R6 | R10 | | | | | | | | | | | | | |
| 卒業見込者数 | 2,084 | 1,963 | 1,868 | 1,756 | | | | | | | | | | | | | |
| 募集学級数 | 39 | 37 | 34 | 32 | | | | | | | | | | | | | |

IV ミッションの追求を通じて、実現しようとする本校のビジョン（将来像・目指す姿）

| |
|------------------------|
| ◎ 地域や社会で活躍・貢献できる人材の育成 |
| ① 社会に通用する生徒 |
| ② 専門知識・技術を身に付け、活用できる生徒 |
| ③ 勝間田高校に『誇り』をもてる生徒 |

V 本年度の重点目標と具体的な取組

| | |
|-----------|---|
| 1 学力向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習を定着させる。 ・授業改善を行う。 |
| 2 生活習慣の確立 | <ul style="list-style-type: none"> ・「勝間田スタンダード」を徹底し、基本的な生活習慣と安全な生活を確立させる。 ・部活動と生徒会活動を充実し、生徒に自信と誇りを持たせる。 ・校内美化、校外清掃活動を推進する。 ・自己の健康について関心を持たせ、健康意識を高めさせる。 |
| 3 進路実現 | <ul style="list-style-type: none"> ・進路の活動を通して、主体的に進路決定できる力を育てる。 |
| 4 情報発信・広報 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校情報の発信を行う。 |

VI 生徒の声（スクールミーティングから主たる意見を抜粋）

| | | | | |
|--|---|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 落ち着いた学校 ○ 勝高のイメージアップ ○ 成長できる学校 | ➡ | <ul style="list-style-type: none"> ・ルールを守れる ・整った服装 ・きれいな学校 ・学力を高められる ・挨拶できる | ➡ | <ul style="list-style-type: none"> ・ルールの厳選(厳しすぎないルールの模索) ・何のために制服を着るのか考える ・掃除に主体性を(掃除内容の個人表明) ・「きみこそスター」(個性の発表・共有) ・挨拶 UP イメージ UP 戦略(HR・運動部を核に) |
|--|---|--|---|--|

